



第95号

発行日: 令和6年4月15日(月)

発行: 山口県立下関西高等学校

～普通科の総合的な探究の時間の活動や探究科の活動、SSH事業の取組など、下関西高の特色ある学びをお知らせします～

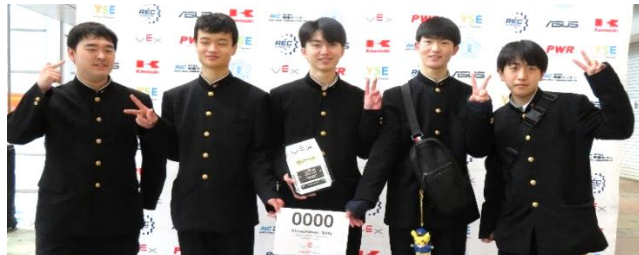
普通科

探究科

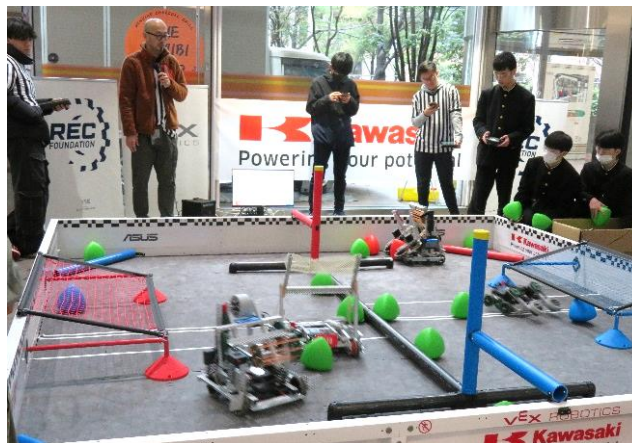
科学部が VRC Japan Cup 2024 hosted by Shinagawa Tech Showcase に参加しました。

VEXロボティクスに取り組む科学部の生徒が、3月25日(月)から29日(金)にかけて東京都の品川インターシティで開催された品川テックショーケースのイベントの一つであるVRC Japan Cup 2024 Hosted by Shinagawa Tech Showcaseに参加しました。3月25日(月)に開催された本大会には、東京のインターナショナルスクールであるThe American School in JapanとInternational School of the Sacred Heartから合わせて4チーム、大妻高等学校から1チーム、高校生によるロボコンチームとして世界大会に出場した経験があるRedBisonsから1チーム、中国のNanhai Bilingual Schoolから2チームが参加していました。本校からは、科学部の1年次生(現2年次生)2人と2年次生(現3年次生)1人でチームをつくって出場するとともに、サポートスタッフとして1年次生(現2年次生)2人が会場に赴きました。

競技では、本校の科学部を含めた9チームが、2チームでペアをつくり、1辺が12フィート(およそ3m66cm)の正方形のフィールドで対戦しました。対戦では、三角すいの形をしたプラスチック製のトライボールを、フィールドの中のロボットを操作してゴール等に運ぶことにより得点を得ることができます。さらに、対戦が終了するまでにロボットを決められた条件に近づけて静止させることにより、得点が加わります。ペアを組んだチームとは、勝利するために作戦を立てる必要があります。これらの会話はすべて英語で行われました。ペアをつくるチームを変えながらリーグ戦を戦い、本校の科学部は4勝3敗で9チーム中5位の成績を収めることができました。



VRC Japan Cup 2024 hosted by Shinagawa Tech Showcaseに出場した本校の生徒



ロボットを操作して、対戦する本校生徒



ペアを作るチームと、作戦を考える生徒

VEXロボティクスに取り組み始めて、大会に初めて参加した本校科学部の生徒は、他チームの高校生と英語でコミュニケーションをとりながら、立派に戦い抜くことができました。

令和5年度下関市明るい選挙啓発運動習字の部で、2人の生徒が入賞!

普通科

探究科

令和5年度下関市明るい選挙啓発運動習字の部に、本校の1年次生(現2年次生)が出品し、探究科の生徒が下関市選挙管理委員会委員長賞を、普通科の生徒が下関市明るい選挙推進協議会会長賞を受賞しました。明るい選挙とは、「一人でも多くのみなさんが政治や選挙に関心をもち、進んで投票に参加し、ルールに違反することなく公正に選挙が行われること」をいいます。本コンクールは、児童・生徒のみなさんが、明るい選挙について考えるきっかけとするために毎年実施されています。このたび入賞した2人は、自ら進んで作品を完成させ、出品することができました。生徒のみなさんも、こうした自主的な活動に挑戦してください。



下関市明るい選挙啓発運動で入賞した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

昨年度の夏休みに書いた読書感想文を、各種コンクールに出品しました。

普通科

探究科

昨年度の夏休みの課題の1つとして、1年次生(現2年次生)が取り組んだ読書感想文をいくつかのコンクールに出品しました。その結果が届きましたので、お知らせします。読書感想文をはじめ、小説や詩などの創作活動の成果を募集する様々なコンクールが開催されています。こうしたコンクールは、出品することにも意義がありますので、生徒のみなさんの積極的な参加を期待します。

第69回山口県読書感想文コンクール

山口県学校図書館協議会が主催する第69回山口県読書感想文コンクールに、10人の生徒が応募しました。本コンクールは、読書の深化と広がりを図り、充実した読書生活の習慣を育むことを目的とされており、各学校から10作品を出品することができます。本校から出品した10作品のうち5作品が下関支部審査で優秀と評価され、山口県審査に進む10作品に選ばれました。山口県審査の結果、普通科の生徒1人が優良賞(14位相当)を、普通科の生徒3人と探究科の生徒1人が入選(33位相当)を受賞することができました。



山口県審査で優良賞や入選を受賞した生徒

第43回全国高校生読書体験記コンクール

公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会が主催する第43回全国高校生読書体験記コンクールに、5人の生徒が応募しました。本コンクールは、多くの本との出会いの中から、特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況で、どのように読んだか、どのように影響を受けたか、そしてなぜ大切な一冊になったか、などを体験記として綴るものです。このたびは、全国から64,422作品の応募がありました。本校から出品した5つの作品のうち、探究科の生徒1人の作品が都道府県別審査委員会で入選(2位相当)することができました。本コンクールでは、本のジャンルは問われず、小説のほか図鑑やマンガ、絵本を読んだ体験記でも応募できます。このたびは、都道府県審査委員会の審査により、中央審査会に出品される1作品には選ばれませんでした。生徒のみなさんのこれからの挑戦に期待します。



都道府県別審査委員会で入選した生徒

第47回山口県高等学校生徒書道展で、山口県教育委員会教育長賞を受賞!

普通科

探究科

第47回山口県高等学校生徒書道展に1年次生(現2年次生)が出品し、普通科の生徒が山口県教育委員会教育長賞(2位)をいただくことができました。山口県高等学校教育研究会書道部会が主催する本書道展は、学校教育の場で高等学校の生徒を対象とした書道展を開催することにより、一人ひとりの書の表現力、鑑賞力、創造力を高めることを目的としています。



山口県教育委員会教育長賞を受賞した生徒と作品

山口県内の高等学校35校から、2,059点の作品が出品されており、本校からは、1年次に芸術科で書道を選択した77人の生徒全員が、授業で制作した作品を出品しました。審査の結果、山口県教育委員会教育長賞に加え、会長賞に5人、特選に8人、金賞に8人、銀賞に8人、銅賞に14人と、数多くの生徒が入賞することができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。